

# HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第2660地区)

WEEKLY BULLETIN

No. 8

## 東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日  
例会日 毎週月曜日 12:30~  
例会場所 シェラトン都ホテル大阪  
事務所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38  
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号  
TEL. 06(6772)2320  
FAX. 06(6772)2327  
E-mail:hcrc@at.wakwak.com



会長 百 濟 洋 一  
会長ノミニー 切 石 博 之  
副会長 瀧 田 浩 彦  
幹事 三 木 武 志  
会報委員長 福 岡 康 民

## THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS ロータリーの未来はあなたの手の中に

2009~2010年度 国際ロータリー会長 ジョン・ケニー

第 1738 回例会 平成 21 年 9 月 7 日 (月曜日) 第 8 号

### 本日の例会

9月7日(月)第1例会

- ◎ソング 「君が代」「奉仕の理想」
- ◎卓話 「私学について」  
(担当:小林成共会員)
- ◎本日の献立 フランス料理

### 次回の例会

9月14日(月)第2例会

- ◎卓話 「私の七転八起人生」  
ゲストスピーカー 大川創業(株)社長 大川真一郎様  
(担当:渡辺 斌会員)
- ◎本日の献立 お造り定食

### 前回の例会記録

8月31日(月)第4例会

- ◎ビジター 大阪RC 春次賢太郎氏 他2名

### 会長挨拶

会長 百濟洋一

8月29日(土)大阪YMCA会館にて開催されました地区ロータリー財団セミナーに佐藤ロータリー財団委員長と出席して来ました。財団セミナー後に地区研修リーダーより、「各クラブにおける会員の研修について」の報告がありました。

各クラブで「研修委員会」を設置されることを推奨します。クラブ研修委員には、アクティブな会長経験者を委嘱し、委員の任期はクラブの状況や必要に応じ

て決めていただきたい。クラブにおいては、「規定情報委員会」あるいはそれに準ずる委員会が会員研修の役割を兼ねている場合、当該委員会がその任にあたります。研修方法は、研修委員と受講者が研修題目についてグループ・ディスカッション方式で進める。講師から受講者への一方通行的な講義ではなく、炉辺会合的な研修が望ましい。

クラブ研修の受講対象者

1. 新入会員 ロータリーの基本知識 自クラブの歴史や長期目標(クラブ独自の綱領)、当該年度の活動方針や目標について研修を受ける。
2. 入会5年未満の会員 配属された委員会の活動内容や活動目的、及びそれぞれの活動分野の実践方法について研修を受ける。
3. 入会5年以上の会員 RI、ロータリー財団、地区、及びクラブの最新の活動方針や目標について研修を受ける。

当地区としましては、各クラブがそれぞれおかれた状況に応じて、クラブ独自に会員研修制度を設けられ、「人づくり」による自クラブの長期的な発展を目指されることを推奨いたします。

### 幹事報告

幹事 三木武志

1. 地区より、『台湾台風災害義援金』のお願いがきております。募金箱を回します。
2. 本日、東大阪みどりロータリークラブの会長、北井様と、I.M実行副委員長の松浦様がI.MのPRのためお越しいただいております。後ほどお話が

ありますので宜しくお願い致します。

3. 次週、9月7日(月)例会終了後、定例理事役員会を5階カトリアの間で開催致します。

## 出席報告

### 岡本委員

本日の会員数	42名
本日の出席者数	29名
本日の出席規定適用免除会員	16名
本日の出席率	82.86%
8月17日の修正出席率	76.47%

## SAAニコニコ箱

### 大石副SAA

森 会員 バッジ忘れまして。

松岡会員 今夏を無事に過ごせそうです。少しは異常気候のせいか。

北井孝彦(会長)様・松浦利英(IM実行副委員長)様  
東大阪みどりロータリークラブ、IM(10月31日)よりよろしくお願い申し上げます。

## 委員会報告

### ロータリー財団委員会

### 委員長 佐藤三千秋

#### “地区財団セミナー参加報告”

会長報告にもありましたように、29日(土)地区ロータリー財団委員会主催の財団セミナーに会長とともに参加してきました。

地区委員会の活動内容及び現在の活動報告並びに財源となる寄付要請が主体でした。詳細内容につきましては、今年11月のロータリー財団月間に地区委員の方に来会して頂き、卓話にて報告致しますので、割愛させていただきます。その他、ロータリーカードの入会を要請されています。年会費は無料で利用金額の0.3%が財団に寄付されます。よろしくお願い致します。

## 卓話

### 「日ごろのころ」

#### 一聞くことの難しさと大切さ一

#### 光徳寺住職 高橋法信様

日ごろのころは、日ごろのころでは確かめる事はできないが、解る、解らないで思いあたる事がある。例えば、今日の話はよく「解る」と言った時は自分のものさしに合う時で、「解らん」と言ったときは自分のものさしに合わない時であろう。そのものさしを日ごろのころと考えてみたい。

蓮如上人の『御文』に「それ人間の浮生なる相」とあるが、それは人間は誰も皆、世間という川の流水の水面を浮いて生きている。その世間とは時代性と社会性を持っていて、その世間の業を縁として生きる私たちは業縁存在であると教えられる。

以前、インドのベンガル地方で狼に育てられた子供二人が発見された。彼女たちは言葉も歩行も全て狼そのものであったという。人間は育てる側によってはど

のようにもなるということであろう。又、彼女達に言葉や歩行を教えるのに長年の歳月と労力が必要であったという。いったんすり込まれた生き方はなかなか変わらないようだ。

時代社会が変われば業も変わるのに、私の業は間違いないものとして生きる私たちに「あなたはそれで本当によいのか」と呼びかけてくる私の声に耳を澄まし、解ったこととして済ませてきたことをもう一度確かめてみたいとおもう。

## ケニー会長：クラブがロータリーの未来を形づくる

ジョン・ケニーRI会長は、「ロータリーの未来はあなたの手の中」という2009-10年度RIテーマの下、ロータリアンに行動を起こすよう呼びかけています。

2009年国際協議会で講演を行った会長は、「ロータリーの未来はエバンストンにあるRI本部で形づくられるのではなく個々のロータリー・クラブによって形成される」と述べました。

また、地区とクラブが2007-10年RI長期計画に沿った目標を立て、水、保健と飢餓、識字率向上の3つの強調事項に関する奉仕プロジェクトを実施するよう促しています。

水が主な強調事項とされているのは、人間が第一に必要なものだからです。「石油がなくてもなんとか生き延びられるかもしれませんが、水なしに生きることはできません」

直接参加型のプロジェクトで既に行動を始めている地区やクラブもあります。例えば第5950地区(米国、ミネソタ州)のクラブは、ウガンダの内戦で移動を余儀なくされた人々に安全な飲料水を提供していると、ガバナーのサンドラ・スライ氏は言います。

第9210地区(マラウイ、モザンビーク、ジンバブエ、ザンビア)では、クラブが村の識字率向上をめざして活動しており、「読み書きを身につけて農業の基本的な知識を学び、収入を増やしたり、食糧を確保できるよう、農村の援助を行っている」と話すのは、地区ガバナーのスタラード・ンパタ氏です。

ロータリーの四大奉仕部門で活動する地区もあります。「若い人たちに職業研修を提供して、生計を立てるための仕事の機会を与えようと計画しています」と話すのは、第3140地区(インド)のガバナー、トリチュールN.(ラジュ)スプラマニアン氏です。

シンガポール・ロータリー・クラブ会長のリップ・キー・ヤップ氏は、クラブと地区がアジアの被災者のために携帯型の救援セットを開発して、提供できるように願っています。「この種のプロジェクトには、クラブのあらゆる奉仕委員会からの協力が必要です」とヤップ氏。「『ロータリーの未来はあなたの手の中に』というテーマは私たちのクラブで多くの共感を呼んでいます」

[ROTARY WORLD より]